

経済的な理由での退学者を出さない！未来への夢をつぶさない！

「高校生みらいサポート奨学金」をご存じですか？

愛知私学奨学金財団は学費の公私格差が大きく、経済的理由で私学から退学せざるをえない高校生を救うため、先生たちがポケットマネーを出し合って作りました。この趣旨に賛同する父母や高校生たちは、先生たちと共に毎月「0」の日に街頭で募金活動を続け2008年には当面の目標である「1億円」を達成して大きな社会的反響を呼び起こしました。募金活動に関わった生徒たちは、「金がないなら私学に行くな！」「人の金をあてにするなら学校をやめろ！」などの罵声を浴び、なかには唾をはきかけられながら頑張り、「1億円募金」のバトンはつながれてきました。弥富高校・愛知黎明高校の生徒たちも頑張ってきましたね。

さて、財団ではこれまでの奨学金貸与に加え、昨年度から「高校生みらいサポート奨学金」の事業を始めました。その目的は以下のようものです。

高校生たちのチャレンジをサポートするために、在学中の留学、部活動など、高校生活の学業に付随する費用（「学費」「進学塾」は除く）を支援する。また、高校生たちが、進学準備にかかわる費用（受験費用と、進学後の初年度の半期分に必要な費用）を支援する。

先日、同財団の理事会が開催され2020年度の「高校生みらいサポート奨学金」に関する採用結果が報告されました。それによると、今年度は15名に対して総額860万円が貸与されました。個人への貸与額は30万円から60万円で、出願理由は「大学・専門学校などへの進学」が多く、「留学」もありました。コロナ禍で家庭の財政状況がひっ迫して自分の未来への夢を断念せざるをえない生徒が生まれるなかで、この奨学金がささやかであっても夢の実現をサポートすることができれば、と思います。

ちなみに、月額1万円（年額12万円）の奨学金は31名に対して372万円が貸与されました。授業料助成が大幅に拡充されたにもかかわらず、以下の表にあるように数・額ともあまり変動がありません。これもコロナ禍による影響かと思われます。

区分	2016		2017		2018		2019		2020	
	奨学生数	金額	奨学生数	金額	奨学生数	金額	奨学生数	金額	奨学生数	金額
一般奨学金	41	4,92万円	21	252万円	31	3,72万円	35	420万円	31	372万円
みらいサポート奨学金									15	860万円
合計	41	4920万円	21	252万円	31	372万円	35	420万円	46	1232万円

※うち、一般+みらい奨学生 6人

本校にも経済的な理由から夢をあきらめざるをえないと考える生徒がいると思います。そんな生徒のために、財団の新しい奨学金のことも念頭において励ましていただければと思います。昨年度の募集時期は、1期8月4日 2期11月30日 3期2月28日でした。